

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586002901	科目番号 / Subject code	05860029
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と共生 (人の一生と健康)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	折口 智樹		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	折口 智樹		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	折口 智樹, 花田 裕子, 澤井 照光		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	折口智樹/origuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	折口/医学部保健学科2階、花田/同4階、澤井/同5階		
担当教員TEL/Tel	折口/095-819-7921, 花田/095-819-7944, 澤井/095-819-7990		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 ~ 13時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人の各ライフサイクル (乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、更年期、老年期) における健康問題について理解する。		
授業到達目標 / Goal	健康の概念と各ライフサイクルにおける健康問題について説明できる。 自主的に学習し、知り得た知識を説明するスキルを習得する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各ライフサイクルにおける健康問題について講義を受けるとともに、どんな健康問題があるか検討したうえで、抽出された健康問題をテーマとして、自主的に学習を行う。そして、学習した内容についてプレゼンテーションを行い、学びあう。 講義にもアクティブラーニングを取り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	ライフサイクル、健康問題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に定めない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	発表、提出物、試験、授業への貢献度を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	健康問題に関心のある学生、共同して学習することに関心のある学生。		
学生へのメッセージ / Message for students	プレゼンテーション (発表) をする方法を学んでおく。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ライフサイクルと健康問題概論 (担当: 折口)		
第2回	小児期・思春期・青年期の健康問題 (担当: 花田)		
第3回	小児期・思春期・青年期の健康問題 (担当: 花田)		
第4回	小児期・思春期・青年期の健康問題 (担当: 花田)		
第5回	小児期・思春期・青年期の健康問題 (担当: 花田)		
第6回	小児期・思春期・青年期の健康問題に関する発表 (担当: 花田)		
第7回	壮年期の健康問題 (担当: 澤井)		
第8回	壮年期の健康問題 (担当: 澤井)		
第9回	壮年期の健康問題 (担当: 澤井)		
第10回	更年期・老年期の健康問題 (担当: 折口)		
第11回	更年期・老年期の健康問題 (担当: 折口)		
第12回	更年期・老年期の健康問題 (担当: 折口)		
第13回	更年期・老年期の健康問題 (担当: 折口)		
第14回	更年期の健康問題に関する発表 (担当: 折口)		
第15回	老年期の健康問題に関する発表 (担当: 折口)		
第16回	試験 (担当: 折口)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586003301	科目番号 / Subject code	05860033
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と共生 (性と生)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮原 春美		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮原 春美		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宮原 春美, 安日 泰子, 宮田 康好, 井田 洋子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	spring@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部保健学科4階宮原研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7954		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールでまず連絡下さい		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>本講座は「人間の性とは何か」についてアプローチする。近年、人々の性行動や規範は解放されてきたが、人々の生涯を豊かにする「人間関係としての性」の学習は保障されていない。この学習の不在に加えて、インターネットを頂点とするあふれるメディア情報に翻弄されているのが現代社会の姿ではなからうか。人間の性は本能ではなく、学習により獲得されることが一つの特徴である。「性」をテーマとして、自己と他者への思考を深め、性情報の取捨選択能力を培う。それらを通し、今後における個々人の豊かなセクシュアリティ確立とモラル形成を図る。</p>		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の性とは何かについて、科学的、社会的に考察できる。</li> <li>2. 人間の性の多様性と関係性について討議できる。</li> </ol>		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義を中心に、一部演習・グループワーク・発表、ディベートを取り入れる。		
授業内容 / Class outline/Con	<p>以下の授業内容に応じて担当教員がそれぞれの専門分野から講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の性とは何かについて考える。 性科学で明らかにされてきた学際的な事実を知る。進化の過程からみたヒトの性の特徴、キンゼイレポートに始まる人々の性に対する様々な調査結果、マスターズ・ジョンソンが実験的に明らかにした「人間の性反応」などを学習する。まとめとしてWHOの定義した「セクシュアリティ」という概念について学ぶ。(安日・宮原)</li> <li>2. 性別(セックス)の成り立ちの意味を科学的、社会的に学ぶ。またフェミニズムの視点から、ジェンダーについて学ぶ。(井田)</li> <li>3. 人間の体の仕組みを「性の視点」から学ぶ 相互の理解と尊重のために、基本的な性器の構造と生殖(妊娠・分娩)の仕組みを学習する。特に情報の乏しい男性の身体についても学び、セックスや性器に関する誤解を是正し、正確な性情報の選択能力を培う。(井川・安日・宮原)</li> <li>4. 性感染症。(井川・安日) の具体的な知識を得ることによって、若年世代での性感染症蔓延の実態を認識する。性的健康を可能にする行動やパートナーとの関係性について考える。AIDSを始めとする性感染症の最新情報を得る。</li> <li>5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて学ぶ。(宮原) リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて概観し、そのいくつかの健康課題について具体的な学習を通して豊かな男女の関係をいかに築くかを考える。 ・人工妊娠中絶に関する法律とその歴史的背景について ・避妊法(低用量ピル、緊急避妊法、コンドームなど)の進歩と実際について ・健康教育としての性教育の理論と実際について</li> <li>6. 人間関係としての性を考える。(安日・宮原) 個人のあり方はその時代の男女の社会関係そのものであり、社会的視点から愛、家族、結婚等について考える。</li> <li>7. 人間の性の多様性を学ぶ。(安日・宮原) 文化人類学的な視点から性の多様性を知る。また基本的人権の視点から障害者、高齢者、同性愛者、トランスジェンダーなどについて学ぶ。またレイプ、ドメスティック・バイオレンス、性的虐待、性の商品化などの現況を把握し、性行為における同意の質を考える。</li> </ol>		

キーワード/Key word	Sexuality, 多様性, ジェンダー, 同意, リブ・ダ・クティブ・ヘルズ・ライツ
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「人間の性とは何か」ミルトン・ダ・イヤート (小学館)、「セクソロジー・ノート」村瀬幸浩 (十月舎) 「ジェンダーの西洋史」井上洋子他 (法律文化社)、「性現象論」加藤秀一 (勁草書房) 「Human Sexuality in a World of Diversity」Rathus, Spencer A. (Allyn & Bacon) 「リブ・ダ・クティブ・ヘルズ・ライツ」北村邦彦 (メディカ出版)、「中絶論争とアメリカ社会」荻野美穂 (岩波書店)、「ニューキンゼイレポート」(小学館)
成績評価の方法・基準等/Evaluation	井田先生 (10点満点)、宮田先生 (20点満点)、安日先生 (30点満点)、宮原 (40点満点) の配分で各授業担当者毎に評価し最終的に総合評価を行う。評価内容は小テスト、授業への貢献度、課題レポートの提出等で行う。授業への貢献度 (遅刻・欠席、授業への参加態度など) が悪い場合は評価の対象としない。
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586026301	科目番号 / Subject code	05860263
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と共生 (社会における精神健康)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中根 秀之		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中根 秀之		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中根 秀之		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟15		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hinak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科 5 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7992 内線(7992)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	中根研究室において、17:00 ~ 18:00の時間帯		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	社会における精神障害や精神保健に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について理解する。		
授業到達目標/Goal	精神障害の基礎的内容や偏見・差別の克服を理解することを目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	社会における精神保健の抱える問題、精神障害に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について、講義や精神障害に関連した映画等の映像資料を通して学ぶ。さらに関連する精神障害(者)に対する情報を集め、ディスカッションを通して理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	本セミナーでは、映画等の映像資料を通して精神保健・精神障害への関心を持ち、さらにインターネットや書籍などからの関連する情報収集を行い、基礎的知識を高める。		
キーワード/Key word	精神健康、精神保健、精神障害、シネマ・サイキアトリー		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート(80%)、ディスカッションにおける発表・報告(20%) レポートの内容は、精神保健に関連する情報とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	精神健康、精神保健、精神障害等に関する情報の収集を積極的に行うこと		
学生へのメッセージ/Message for students	医学情報の検索方法などについて習熟しておく。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(本モジュールの進め方の説明)		
第2回	うつ病に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第3回	うつ病に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第4回	資料のまとめ、ディスカッション		
第5回	認知症に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第6回	認知症に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第7回	資料のまとめ、ディスカッション		
第8回	アルコール・薬物依存に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第9回	アルコール・薬物依存に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第10回	資料のまとめ、ディスカッション		
第11回	統合失調症に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第12回	統合失調症に関する映像資料の精神医学的検討、資料の収集(随時ディスカッション)		
第13回	資料のまとめ、ディスカッション		
第14回	具体的なアンチスティグマ活動に関連する精神保健分野のディスカッション		
第15回	アンチスティグマへの理解に関連する精神保健分野のディスカッションとまとめ		
第16回			